

学校番号	25	学校名	大垣養老高等学校
------	----	-----	----------

学校教育目標 (教育方針)	「質実剛健・自主創造」の校訓のもと、生徒の将来の自己実現と幸せな人生を願い、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かで、自立と共生をもって地域に生きる有為な人材を育成する。	
3つの方針 (スクールポリシー)	どんな生徒を 育てたいか 【GP】	<ul style="list-style-type: none"> 確かな基礎学力と専門的な知識・技術や資格を取得し、課題解決力と創造力を身に付けた生徒 自ら考え、他者を尊重し、協働して目標達成に向けて行動できる、地域の担い手となる生徒 明るく元気で、挨拶ができ、社会のルールやマナーを守る態度を身に付けた生徒
	生徒をどう 育てるか 【CP】	<ul style="list-style-type: none"> 「課題研究」や「総合的な探究の時間」を中心とした課題発見力・課題解決力の育成と、地域に開かれた教育課程・地域連携学習の推進 一人一人の生徒が自己肯定感をもって活躍できる、より多くの学びの機会を設定 生徒一人一人の多様なニーズを把握し、総合学科と農業科の特性を生かした個に応じたきめ細かな指導の推進
	どんな生徒を 待っているか 【AP】	<ul style="list-style-type: none"> 好奇心・向上心：専門科目を学ぶことに興味があり、自分の良さと夢を見つけ努力できる生徒 協働する心：他者を尊重し、他者とともに学ぼうとする素直な姿勢を持った生徒 社会への関心：地域の活動や部活動に積極的に参加しようとする意欲を持った生徒
学校の抱える課題	<ul style="list-style-type: none"> 学習習慣や自ら学ぶ意欲や態度の確立 総合学科の運用組織改編と総合学科独自科目である「産業社会と人間」、「総合的な探究の時間」の学習スケジュールの構築 働き方改革の観点からの行事精選と業務のスリム化 総合学科と農業科が連携した教育共同事業 学びの多様なニーズに応える環境の充実 	
教育指導の重点	領域・分野	今年度の具体的な重点目標
	学校経営	地域連携、地域貢献、地域共生を推進し、地域と共に歩む学校を目指す。 教職員の働きやすい職場環境づくりを推進する。
	学習指導	基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、自ら学ぶ意欲や態度を育てる。 全ての生徒に質の高い教育を推進し、よりよく生きる力を育む。
	進路指導	キャリア教育を推進して、生徒の自己肯定感・自己有用感を育み、主体的かつ計画的な進路選択を促し、社会的職業的自立を支援する。
	生徒指導	信頼と友情に基づく生徒理解に徹し、自己指導能力の育成に努める。

年度目標			
領域分野	3つの方針・具体的な重点目標の達成に必要な 具体的取組・方策	県教育振興基本計画 での位置付け	達成度の判断・判断基準 あるいは評価指標
学校経営	地域貢献、地域連携、地域共生、地域資源の活用を推進する。	4	施策Ⅰ-4
	HR活動、部活動、ボランティア活動の充実を図る。	5	施策Ⅰ-5
	「教育共同事業」として、農業科と総合学科教員と生徒双方の理解と協働を深める。	20	施策Ⅳ-20
	働き方改革を踏まえて学校運営の改善を進める。	27	施策Ⅳ-27
学習指導	基礎的な学力を身に付けさせるための授業改善と家庭学習時間の増加の推進を図る。	9	施策Ⅱ-9
	課題解決学習の充実に向けた学びの質の向上に取り組む。	8	施策Ⅱ-8
	観点別学習状況の評価を行うための授業改善と実施方法の研究と工夫を重ねる。	8	施策Ⅱ-8
進路指導	キャリアパスポートを活用したキャリア教育の推進と外部教育力を活用したキャリアガイダンスの充実を図る。	13	施策Ⅱ-13
	進学・就職に対応した基礎トレ、小論文講座、面接指導、志望理由書指導の充実を図る。	8	施策Ⅱ-8
	外部教育力を活用し、生きる力、職業観・勤労観、進路意識のさらなる向上を図る。	13	施策Ⅱ-13
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識の醸成を図る。	1	施策Ⅰ-1
	人権、情報モラル、性教育、交通安全に関する講話（LHR）を実施する。	2	施策Ⅰ-2
	交通安全指導の推進、危機意識の啓発による安全・安心な学校生活の実現を目指す。	19	施策Ⅲ-19
	教育相談の充実及びチームサポートによるスクールカウンセリングの展開を行う。	3	施策Ⅰ-3

年度末評価(自己評価)			
取組状況・実践内容 評価項目の達成状況等	評価 A. B. C. D	成果と課題	総合評価 A. B. C. D
<ul style="list-style-type: none"> 継続的な外部講師などによる専門的な指導の継続 地域との連携及び地域技術交流体制の構築 生徒が作りあげる大養祭の構築 農福連携や農業科と総合学科職員の交流の推進 行事や書類の精選、年休取得や時間外勤務振替の推進 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○「おおがき未来創造事業」と連携した総合的な探究授業を実践できた。 ▲行事や生徒の活動に対して、教員が手助けをする場面が多かった。来年以降はもっと生徒主体の活動を目指す。 ○「教育共同事業」として、農業科と総合学科教員と生徒双方の理解と協働が深まり、新たな活動を展開できた。 ▲行事の精選がなかなか進まなかった。 	B
<ul style="list-style-type: none"> 各教科、科目における宿題、長期休暇等における課題の作成 総合実習、総合的な探究の時間及び課題研究(学習成果発表会)など専門科目の充実 ICT活用による授業改善、評価方法の課題と改善についての研究と共有 適正な出席管理、成績処理の徹底 	B	<ul style="list-style-type: none"> ▲学習教材の持ち帰り指導の徹底や学習習慣の確立ができていない。 ○地域連携を多様化させ、研究や学習成果を発表する場面が広がっている。 ▲学習指導の在り方、取組についての検討を重ねて職員間で共通理解を深めるとともに、生徒へ授業の大切さを発信し続ける必要がある。 ○出席管理、成績処理について、教員間で共通理解を深めることができた。 	
<ul style="list-style-type: none"> 基礎トレ：基礎学力・一般常識の習得に主体的な取組体制を整備 3年前期は全クラスがSPIや基礎学力の増強を目的に朝トレ・朝スピーチを実施 小論文指導、面接指導を通して、自己表現力を高め、課題解決に向けた取組を促進 地域社会と連携し、講演会や企業展、インターンシップ、職業体験講座を実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○進学・就職活動を通して自己表現力や基礎学力を高め自立心を育み、大半の生徒が第一志望への合格を果たした。 ▲将来への展望をもった向上心を喚起して1年生から高い進路目標を掲げて着実に努力を継続できる人材育成を図りたい。2年生は進路志望を実現する具体的な道筋を主体的に考えて進路実現を図らせたい。 	
<ul style="list-style-type: none"> 学年会と連携した指導の徹底 各種アンケートによる実態把握と早期指導 外部講師による情報モラル講話の実践と携帯電話のマナー指導 自転車点検、交通安全講話の実施 MSリーダーズ活動による交通安全啓発活動 教育相談週間や心理検査等による生徒理解 生徒指導ORを通した1年生適応指導の充実 	B	<ul style="list-style-type: none"> ○全教育活動を通じて、生徒の良さや存在感が共有できるよう学年団を中心にクラス運営することができた。 ○交通事故数の減少が見られた。 ▲保健室・相談室を訪れる生徒数が多かった。生徒の自己解決能力を高める必要がある。 ▲「闇バイト」をはじめとする情報モラルに関する教育が一層必要である。 	

来年度に向けての改善方策等

実施日：令和7年1月15日

<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣（挨拶、時間厳守）の確立と自己決定の場の提供を図り、より自ら考え選択決定させる支援 学習指導委員会における学習到達目標に向けて組織的に取り組むための具体的な方策の実施 SPIに対応できる「確かな基礎学力」の養成と、基礎トレの充実 共感的な人間関係の育成のため、支持的で支援的なHRづくり 他の部活動の応援など積極的に参加して切磋琢磨できる雰囲気醸成 主体的な進路選択に結び付く、キャリア教育行事の実施、事前・事後指導の充実 地域資源及び農場生産物を活用した生徒による「生産力向上」と「持続可能性」及び「地域活性化」への取組 課題解決学習の充実と実践に向けた総合学科、農業科の持続可能な連携推進 情報モラル教育の充実 働き方改革の観点から行事のスリム化、効率化をさらに推進 関係機関と連携した担い手育成活動の充実と地域の技術交流体制づくり
--

学校関係者評価

実施日：令和7年1月23日

<ul style="list-style-type: none"> 学校の目標、方針がはっきりしていて良い。経営方針に向けて教育が行われている。地域住民・親として安心ができる。大垣養老高校は素晴らしい学校なので、ずっと存続してほしい。 生徒達は以前に増して良い挨拶をしてくれるようになった。基本が大事にされ徹底していると感じた。 基礎トレや3年生が1年生に対して自分の進路を語る会など、進路行事がとても有意義なもので良い。続けてほしい。 先生方の熱量とそれに応える生徒の姿があり、感心した。 HPで情報発信するとあるが、受け取り方が多様なため情報発信は慎重に進めてほしい。 MSリーダーズは、地域密着で良い活動だが、ボランティア以外にも活動の場を広げてほしい。 岐阜大学の農業高校推薦を積極的に利用してほしい。 先生方の指導は素晴らしいが、外部講師の招聘を今以上に活用することも検討してほしい。 働き方改革の時代で部活動指導は地域に移行しているが、是非、高校では高校の先生でやってほしい。 ○来年度も授業改善に努め、総合学科と農業科の連携、地域連携等魅力ある学校づくりを推進していく。
